

株式会社マリアージュ吉野

茨城県石岡市



生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

『割烹吉野』から120余年のおいしい料理とおもてなし。親子二代・三代の結婚式が信頼の証

- 石岡市の公認キャラクター『いしおか恋瀬姫』を題材にみんなで歌い踊れる音頭を作成
- 現社長の2人の娘（26歳・24歳）が会社に入り、現業及び新規事業について取り組んでいる
- 老舗の伝統と格式のあるおもてなし

企業基本情報

所在地	茨城県石岡市旭台二丁目16番5号
電話/FAX	0299-26-8800/0299-26-8890
URL	http://www.hotel-grandmariage.com/
代表者	代表取締役 山本 裕子
設立	1891年
資本金	5,000万円
従業員数	34人



会社概要

石岡市旭台の結婚式場、宴会場『マリアージュ吉野』と同国府（JR石岡駅前）の、宿泊ルーム50室、宴会場、レストランを営む『ホテルグランマリアージュ』の2施設を有する創業120年超の老舗企業。1988年に現社長が就任してからの永年勤続スタッフとともに、地元の顔として頑張っている。地域で一番大きな宴会場は、大人数の集まりのできる唯一の場であり、駅の改札口から1分のホテルも、常磐線の利用客から必要とされている。社長の2人の娘が事業を継承する予定。



施設外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

石岡市公認キャラクター『いしおか恋瀬姫』を積極的に活用

『いしおか恋瀬姫』は2015年の誕生以来、地域を活性化、盛り上げるキャラクターとして市を挙げて普及活動を続けている。特に、同社が制作・提供をした『いしおか恋瀬姫音頭』はみんなで歌い踊ることにより、親近感を感じる曲であると評価を受けている。商工会議所、市役所のイベントには必ず参加し、大きな笑顔と踊りの輪を作り上げている。また、宴会やレストランでも恋瀬姫にまつわるメニューを提供しており、現在もふるさと名物となる逸品の制作に向けて奮闘中である。



いしおか恋瀬姫

現社長の2人の娘が意欲的な事業継承に取り組んでいる

長女は主にホテルの運営に取り組み、複数の予約ソフトを連携させたシステム構築などにより、宿泊稼働率を大幅に改善させた。次女は『芸能部門』を新設し、対外的な活動により、石岡市、同社の存在をアピールするという新たなビジネスモデルを立ち上げ、同社主催のコンサートの為に初めて石岡に来たというような新規顧客の開拓に寄与している。また、新規事業として、国が推進する福祉事業への展開を視野に入れ、姉妹二人の力を合わせて更なる成長分野への参入を目指している。



ホテルルーム・Erikoの活動テーマ

老舗の伝統と格式のあるおもてなし

石岡で1891年に創業した『割烹吉野』が同社の原点であり、戦後の復興期には長い間「常磐線に吉野あり」と県内外の顧客に愛された有名店である。昭和30年代からは、大広間や披露宴会場において、にぎわい結婚式が執り行われており、現在でも『割烹吉野』から引き継いだDNAによりおいしい料理とおもてなしを提供している。また、結婚式の為に創られた、宝宝箱のようなホテル全体を新郎新婦の邸宅として使えるような最上級のホテルウエディングを演出している。



結婚式料理